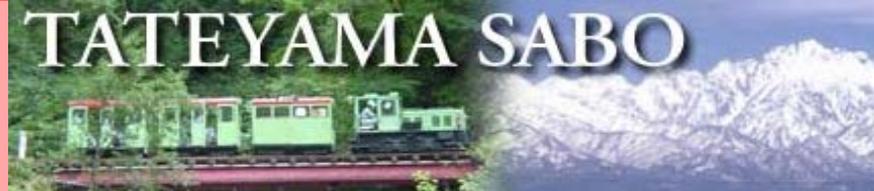


Vol. 17 H30.7.23

世界遺産登録人材育成プロジェクト ユースプログラム(高校生コース)に参加!



世界遺産の現状や課題、世界文化遺産登録を目指す立山カルデラの歴史的砂防施設群などについて若い世代への普及啓発を図ることにより、未来の世界遺産を守る基盤づくりと「立山・黒部」の世界遺産登録の推進に寄与することを目的として、「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(高校生コース)」が7月23日～25日の3日間にかけて行われております。

今回はその第1日目の3講座のうち、立山砂防事業に関する講義を、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時：平成30年7月23日(月) 13:00～14:20
場所：富山県民会館701号室
名称：平成30年度世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(高校生コース)
主催：富山県世界遺産登録推進事業実行委員会(富山県、関係機関、民間団体、有識者等により構成)
参加者：県内高校生 37名

◆プログラム◆

- 講座1 「立山・黒部の世界遺産登録の取組み」
富山県総合政策局 企画調整室
- 講座2 「立山の自然と災害」
立山カルデラ砂防博物館 本田 孝夫 館長
- 講座3 「立山砂防事業・現在の暮らしと砂防」
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長

○講座3

・はじめに

先日、西日本で大きな災害が発生した。これと同じような災害が約150年前に富山県内でも発生した。その災害のために、富山平野が高さ2mほど埋まってしまうほどの約2億m³の土砂が、現在も常願寺川上流に存在している。この土砂との戦いが現在に至るまで繰り返されてきた。



講座3：大坂 剛 事務所長

- ・立山カルデラの周辺
- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年の大災害
- ・砂防事業の歴史
デレーケの河川改修、富山県による砂防事業、直轄砂防事業、白岩砂防堰堤本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群、多枝原砂防堰堤群、立山砂防工事専用軌道
- ・最新工法
無人化施工、シャッター付き砂防堰堤ICT技術の活用(UAV、MG工法)
- ・「TEC-FORCE」派遣 など



会場の様子



講義の様子

「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム」とは..

専門家を招いての世界遺産講座や、世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について知っていただくプログラムです。

平成25年度から大学生等を対象に実施しており、昨年からは高校生向けコースが新設されました。